学生から見た NPO 法人アサヒキャンプ名古屋の活動紹介　2023.4.1 版

・アサヒキャンプとは

学生が主体となって子どもの挑戦を応援する団体。

障害のある子どもとともにキャンプをして、普段経験することのできない学びを得ることができる団体です。

・参加してくれる子どもたち

→発達障害のある子ない子

→小学２年生から中学３年生

→素直で優しい心を持っている子

・アサヒキャンプの良さ

①教員採用試験で役に立つ

2020～2022 年(過去３年)教員採用試験　12 人中 11 人合格

②バイト・サークルと両立ができる

→柔軟に予定が組める！　参加する・しないは本人が選択！

③金銭的負担が少ない

→子どもの参加する行事は学生参加費無料！

年間スケジュール

▽5 月、６月

・**トレーニングキャンプ**→山でのキャンプ

▽8 月

・**夏いろキャンプ**　→山でのキャンプ

・**夏の川のほとりキャンプ**→施設でのキャンプ

▽10 月～2 月

・**ひだまりキャンプ**→施設でのキャンプ

▽3 月、４月、５月

・**春の川のほとりキャンプ**→施設でのキャンプ

▽実は他にも、

・**楽習会**→子どもと一緒に学習、おしゃべり！

・**マイスペース**→子どもとマンツーマンで遊ぶよ！

・**JOY ふるキャンプ**→高校生・青年と楽しむ行事！

アサヒキャンプの学生たち

大学での専攻は心理、教育、保育、福祉を学ぶ学生が８割です。毎年 4 月に大学１、2 年生を対象に募集、総勢約 40 人。行事ごとに役割を決め、事前事後に学生全体で情報を共有しながら活動しています。

多くの経験を積んだ先輩が後輩を支援、安全かつ楽しい行事運営を行いながら、子どもとの関わりを通じて様々なことを学ぶことができます。

大学生の進路

教員、臨床心理士、医療、保育、福祉、一般企業など。子どもたちと接する機会、保護者とお話しする機会が多く、子どもと楽しい時間を過ごし、組織の中で役割を担当した経験は、就職活動の面接で大いに役立ち、第一希望の仕事につきやすくなると多くの先輩たちは話しています。

現役学生の声

徳増光大（68 期 円堂）大学２年

この活動は私にとって大学で学んだことを、実戦の場で試すことができるものだと思っています。アサヒで新しくできることが増えると、大学での学びに活かすことができることもありました。逆に大学で学んだことをアサヒで活かすこともできます。また、できることが増えると子どもたちの反応も良いものに変化していき、非常に達成感があります。コロナの影響もあり、挑戦に踏み出せにくくなっているからこそアサヒキャンプで頑張れて充実しています。

佐幸 茉奈（67 期　元太）大学３年

アサヒキャンプでこの活動は、私の将来の夢に繋がる貴重なものだと思っています。子どもと関わる中で、どのように促すべきなのか、どのようにしたら上手く伝わるのかなどを考えています。子どものことを考えながらキャンプを運営していくうちに自分は子どものことが大好きなんだなと再認識しました。また、アサヒキャンプで出会った仲間達は同じ目標を持つ仲間が多いので、自分にとって良い刺激となっています。アサヒキャンプに入って大学生活を充実させませんか？

2023 年春　アサヒキャンプ卒業生の声

神谷 亮助（65 期 イム）

このボランティアの魅力は、学生が主体となって全ての行事を行なっているところです。キャンプのプログラム作りや当日の時間管理、子どもの安全管理まで全て学生が主体です。『子どもを楽しませる』という単純な目的の中にも発達障害がある子どもも含めた、全ての子ども達が楽しむためにどうするのか。また、楽しませるだけじゃなくて安全管理はどうするのか。思考×行動で毎回大変です。一緒に考えましょう。

田口 日奈太（65 期 マイ太）

アサヒに入って特別支援に関する知識の必要性を感じました。最初は子どもがかわいいという思いだけで参加していたのですが、キャンプを重ねるにつれ、子どものために自

分は何ができるかなどと考えるようになりました。大学では養護教諭を目指して学んでいましたが、これからは特別支援の視点を兼ね備えた養護教諭になるという夢ができました。

佐藤 桃花（65 期 爽）

障害のある子どもたちと関わる機会の多さがアサヒキャンプの魅力だと思います。自分の声掛けや支援を通して大きく成長していく子どもたちを間近で見ることができた時、とても嬉しくやりがいを感じました。また、学生主体でキャンプを運営していくため、リーダーシップなど多くのスキルを身につけられるとともに、助け合った仲間との絆も深めることができました。ここでの経験は、教員採用試験や就活で大いに活かしていけると思います。

山田 美空（65 期 チェス）

アサヒキャンプに入ってから、私は新しい夢を見つけることができました。キャンプを通して多くの子どもと関わる中で、発達障害の子どもたちのために自分が何かしてあげたいと思うようになりました。また、一人一人にあった支援も考え、その結果子どもたちが成長するのを見ることができるのもアサヒキャンプの良い所だと感じます。この４ 年間、子どもと関われるだけではなく、かけがえのない仲間とも出会うことができました。このたくさんの経験がこれからの自分の成長にも繋がると思います！少しでも興味を持っていただけたら嬉しいです！

渡辺 瑞稀（65 期 あわ雪）

ここでは子どもとの関わり方はもちろん、企画力、運営力、リーダーシップ、多様性への理解力、人のために考えて行動する力など学生のうちに身に付けておくべき力が備わります。授業や実習ではわからないリアルな体験があなたを成長させてくれます。アサヒキャンプの１番の良さは自己肯定感を上げてくれるところです。それは子どもたちへだけでなく、学生も同じです。人を肯定することが得意な仲間と楽しく活動し、あなたも認め合える仲間の一員になりませんか？

丹羽 友希（65 期 あに丸）

私は大学も教育関係の学部ではありませんが、４年間という長い時間があるのだから「有意義な大学生活を送りたい」「発達障がいを持つ子どもに対する理解を深めたい」そんな想いで、アサヒキャンプに所属しました。実際に学生主体となって企画や運営に携わることで、自分自身の成長だけではなく、社会人としての自信にも繋がりました。「誰かの役に立ちたい人」「目標に向かって１つのことを成し遂げたい人」にオススメの団体です。

鈴木 沢香（66 期 グリちゃん）

私はアサヒキャンプに所属して、個性豊かな子どもたちとの接し方はもちろんですが、特にリーダーシップについて学ぶことが出来ました。子どもたち 40 人、学生スタッフ 40 人のキャンプのリーダーを経験しました。その中で、大人数を動かすための効果的な声掛けの仕方や、物事の優先順位のつけ方、組織の中での自分の強みは何なのか、などさまざまなことを学びました。アサヒキャンプで学んだことは、業界を問わず社会人にとって必要なスキルだと感じます。また、アサヒキャンプは学生主体の組織であり、常に周りには支えてくれる心強い仲間達がいます。仲間たちに刺激を受けながら、子どもたちと共に自分も成長できる、そんな活動をしてみませんか？

OB の声　◇◇2022 年春卒業生

藤岡 舞（64 期 ななさん）特別支援学校教諭

幼い頃に障害のある兄弟とアサヒキャンプに参加し、憧れを抱いて学生カウンセラーになりました。様々な子どもへの寄り添い方が学べるのはもちろん、行事を運営する上で必要な話し合いや豊富な発想力などは、現在特別支援学校教員として大きな糧になっています。また、この活動を通して感じた悩みや葛藤、喜び、そして何よりそれらを共有した仲間は一生の宝物になっています。充実した学生生活を送りたい方、夢中になるものと出逢いたい方はぜひ足を運んでみてください！

◇◇2021 年春卒業生

畔柳 彩乃（63 期 こてつ）小学校教諭

子どもたちの前で話をしたり、ゲームを進行させたりする中で、分かりやすい説明の仕方や、興味を引き付ける話し方を、経験をもって学ぶことができました。個性豊かな仲間たちと活動し、互いの良さを見付け、認め合うことで、自然と相手の良いところに目を向けられるようになります。また、子ども一人一人とじっくりと関わり合うことで、相手のことをよく理解し、その人に合った関わり方ができるようになります。ぜひアサヒキャンプを、あなたの「居場所」のひとつにしてみませんか。

◎2023 年アサヒキャンプカウンセラー募集説明会

4月８日、15 日、22 日の土曜日　15-16 時　事務所

4月5日、12 日、19 日の水曜日　17-18 時　事務所

募集対象　４年制大学の1.2年生　15人　学部は問いません。

学生が説明します。たくさんの写真を見にきてね！

連絡先　　090-2570-1013 担当：中久木俊之（ｼｮｰﾄﾒｰﾙ OK）

アサヒキャンプ名古屋

〒456-0024　名古屋市熱田区森後町 7-14　沼田ﾋﾞﾙ３階

電話 052-908-0623　http://asahicamp.nagoya/

メール asahicamp.nagoya@gmail.com